

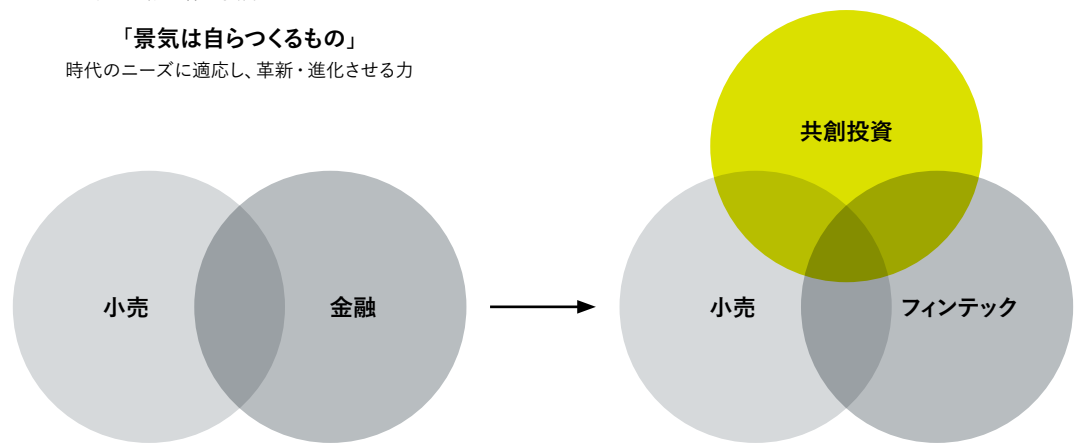
## 共創のエコシステム

丸井グループがめざすのは、世界に存在するあらゆる二項対立を乗り越え、すべての人が「しあわせ」を感じられるインクルーシブで豊かな社会の実現です。創業当時から続く、「小売・金融一体のビジネスモデル」から、無形投資を中心とした「小売×フィンテック×共創投資」へと経営をアップデートし、将来世代を加えた6ステークホルダーとの共創により、ビジネスを通じて社会や地球に開かれた「共創のエコシステム」をつくっていきたくと考えています。

丸井グループ創業の精神  
丸井創業者 青井 忠治の言葉

「信用はお客さまと共につくるもの」  
小売・金融一体の独自のビジネスモデル

「景気は自らつくるもの」  
時代のニーズに適応し、革新・進化させる力



### 信用の共創

#### 「小売・金融の一体化」

丸井グループの独自性を一言で言い表すならば、信用の共創に基づく「小売・金融の一体化」と言えます。創業時の家具の月賦販売から、その基本的なビジネスモデルは変わっていません。ご利用限度額を他社よりも低く設定することで、幅広いお客さまに金融サービスを提供してお買物を楽しんでいただき、ご利用実績を通じて一緒に信用を創っていく。現金商売のように一期一会で売ったら縁が切れてしまうという関係ではなく、こうした「信用の共創」を積み重ねてきました。

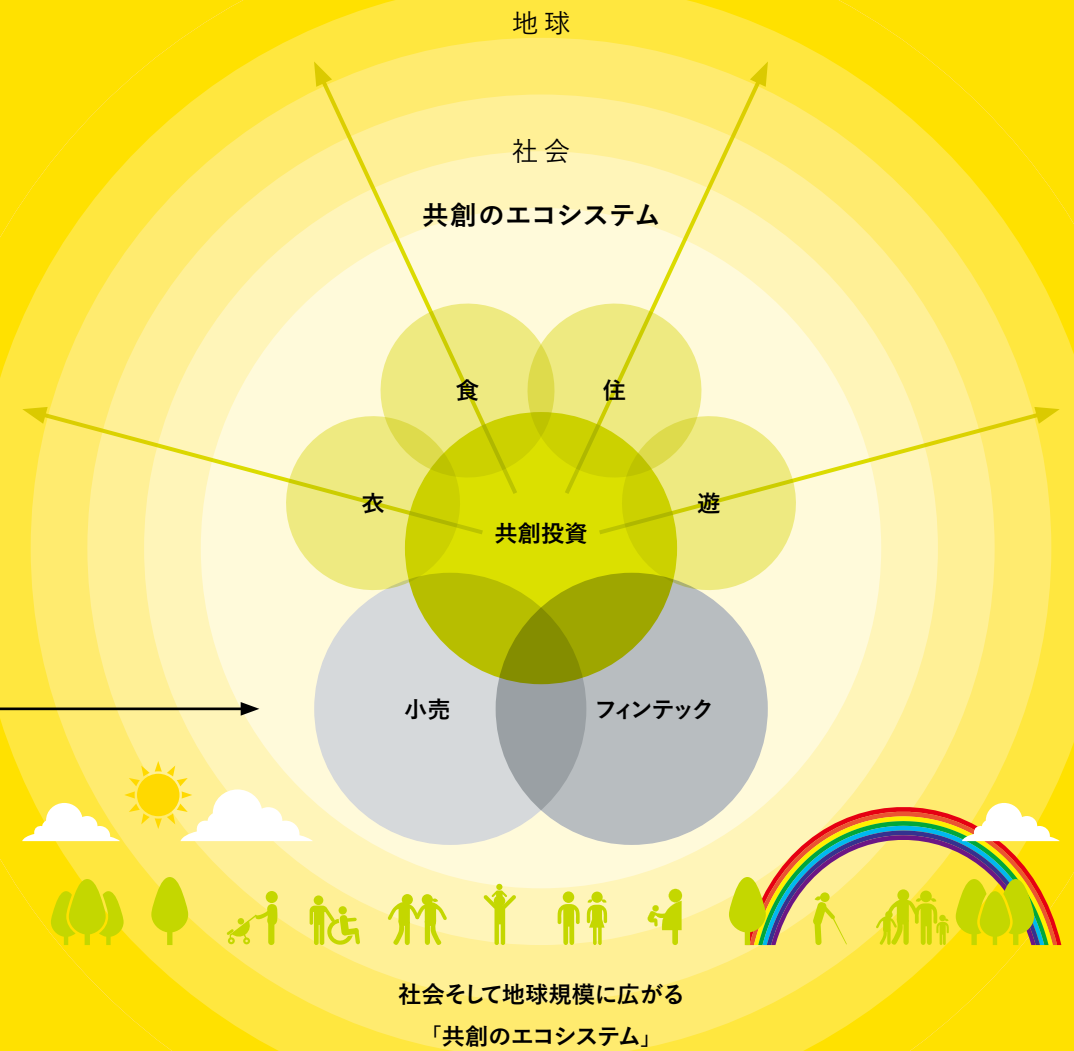
### 将来世代を加えた信用の共創

#### 「小売×フィンテック×共創投資」

丸井グループは、2006年以降のビジネスモデルの転換を通じて、安定的なキャッシュ・フローによる収益基盤が整いつつあります。フィンテック事業はエポスカードの取扱高が継続的に拡大し、小売事業は仕入れて販売する百貨店型のビジネスから、家賃収入の不動産型ビジネスに転換しました。そのような基盤の中で、D2C企業やスタートアップ企業などへの「共創投資」を中核とした新たな三位一体のビジネスモデルこそが、丸井グループがめざすビジネスであると考えています。

丸井グループがめざす姿

すべての人が「しあわせ」を感じられる  
インクルーシブで豊かな社会の実現



丸井グループは、これまで進めてきた共創経営を基盤にした共創投資を通じて、社会や地球に開かれた「共創のエコシステム」の創出をめざしています。そこには、丸井グループが単独で発展するのではなく、衣・食・住・遊のライフスタイル全般について、すべての人が取り残されることなく「しあわせ」になれるようなエコシステムを、ステークホルダーの皆さまと共に創っていきたくという想いが込められています。一部の人だけが「しあわせ」になっても、それは豊かな社会とは限りません。すべての人が「しあわせ」を感じられるようになって初めて、本当の意味で豊かな社会になったと言えるのではないのでしょうか。

この「共創のエコシステム」の実現には、丸井グループの社員はもちろん、お客さま、お取引先さま、株主・投資家、地域・社会、将来世代の皆さまとの共創が不可欠です。同じ志を持つ仲間や、共感していただける方を、「この指と一まれ!」と募り、現世代と将来世代が協力し合い、将来世代が活躍できる次の社会をつくっていきたくと考えています。